

7/7(金) 14:30-15:00@JICA四国
国際連合人間居住計画（UN-Habitat）との連携・協力に係る意向書署名式を実施！
—都市・地域開発課題の解決に向けたSDGs達成に関する連携の取組を強化—



国際協力機構（JICA）は、7月7日（金）、国際連合人間居住計画（UN-Habitat）福岡本部（アジア太平洋地域担当）と連携・協力に関する意向書（LOI:Letter of Intent）を締結します。

署名は、G7都市大臣会合の開催に併せて実施するもので、香川県高松市のJICA四国（2F会議室）にて、国際連合人間居住計画（UN-Habitat）シャリフ事務局長及びJICA小野寺理事立会いの下、UN-Habitat福岡本部ブルーノ本部長代行と社会基盤部田中部長との間で署名式を執り行います。

今回の意向書は、都市・地域開発グローバルアジェンダに沿ったSDGsゴール6「安全な水とトイレを世界中に」、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、11「住み続けられるまちづくり」、13「気候変動に具体的な対策を」の達成による開発途上国における都市・地域開発課題解決に向けて、UN-HabitatとJICAのそれぞれの戦略文書であるUN-Habitat 2020-2025戦略計画とJICA Global Agendaの取組の連携強化を目的としたものです。

これまでUN-HabitatとJICAは、都市問題の解決に向けて現場においてアドホックな情報共有を行ってきておりましたが、今回の意向書に基づき、連携関係をさらに深めながら、両機関が掲げる事業戦略を尊重しながら、お互いの知見、人材、ネットワーク等を活用し、SDGs達成に向けた取組を一層推進していきます。

G7会合の合間を縫っての限られた時間にはなりますが、UN-Habitat事務局長等へのインタビューも可能です。署名式の詳細は次ページの概要をご確認ください。

ぜひ ご取材ください！



署名式概要

■日時:

2023年7月7日(金)14:30-15:00

■場所:

JICA四国センター2F会議室(高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル2F)

■参加者:

①国際連合人間居住計画

事務局長 マイムナー・モハメド・シャリフ氏
福岡本部 本部長代理 ブルーノ・デルコン氏

②JICA

理事 小野寺 誠一、社会基盤部 部長 田中 啓生、他4名

【意向書内容】

- 職員レベル及び/または管理職レベルでの都市開発・都市マネジメント分野にかかる協議の実施。
- 事業への革新的なアプローチ、ニーズ、チャレンジにかかる情報交換。
- 協働勉強会等の開催を通じた技術的知見および経験の共有。
- 両機関間での中堅職員の人材交流。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA四国 業務課 担当 船越
TEL:087-821-8826/080-7138-9843
email:Funakoshi.Yohei@jica.go.jp

※場所や時間に限りがありますので、
取材をご希望の方は事前にご連絡ください。